

18 情報収集・分析力向上研修

～情報収集・分析の基本を学ぶ～



目的	情報収集やその分析の手法を活用することで、行政課題を発見し、改善するための基礎的な技術を身につけることにより、職場のリーダーとして必要な「企画提案力、分析力」の向上を図る。		
内容 <small>(テクニカルな統計解析・データ分析等については扱いません。)</small>	(1)課題解決のための情報収集・分析ステップを学ぶ。 (2)課題解決のため、仮説構築の「重要性」と「タイミング」を学ぶ。 (3)目的につながる分析・解釈を、「定量分析(数値化が可能な情報・データの分析)」と「定性分析(数値化が難しい定量以外の情報の分析)」に分け、学ぶ。定性分析の題材は、「大分県」を用いる。 (4)情報収集・分析、そして解釈した結果を表現する手法として「図解(グラフ化)」を演習で学ぶ。		
実施月日	第1組	令和7年 8月 7日(木)～ 8日(金)	
	第2組	令和7年11月17日(月)～18日(火)	
	第3組	令和7年11月20日(木)～21日(金)	
対象者 ・ 定員	＜市町村職員との合同研修＞		
	県職員	中堅キャリアアップ研修対象者で受講を希望する職員	各組 12名
	市町村職員	係長等キャリアアップ研修対象者で受講を希望する職員 採用2年目～係長等の職員	各組 17名 各組 16名
研修講師	株式会社行政マネジメント研究所 専任講師 佐野 青子(さの はるこ)氏		
プロフィール	1990年 大学卒業後、マーケティングリサーチ会社、シンクタンクを経て、海外消費財商社にてマーケティング業務に携わる。 2002年 マーケティングコンサルタントとして独立。企業内マーケティング支援、社員教育、経営企画サポートを実施。企業講師として活動開始 2008年 GCDF-Japanキャリアアカウンセラー資格取得 2013年 株式会社行政マネジメント研究所 専任講師として活動 2019年 「2030 SDGsゲーム」公認ファシリテーター資格取得 2020年 「SDGs de 地方創生」ゲーム公認ファシリテーター資格取得 2022年 「第1回京都SDGs ゲームショウ」実行委員として企画・運営実施		
昨年度 受講者の声	▶SWOT分析で強み、弱み、機会、脅威で割り振ることによって、推進、改善、縮小、撤退と分類することができて、とてもわかりやすかった。		
	▶グループワークや单元ごとに振り返ってまとめる時間が多く組み込まれていたため、他の方の意見や考えを聞くことができ、理解を深めることができた。		
	▶情報収集にあたり、目的を明確化し仮説を立てることが大切であることを、グループワークを通して実感できた。		

日程表		8:50	9:20	9:30	12:00	13:00	16:15
1日目	受付	オリエンテーション	1 EBPM及び分析の基本視点 ・EBPM(証拠に基づく政策立案)とは ・そもそも分析が必要な理由 ・情報収集・分析の正しいステップ 2 目的を押さえる ・目的意識と相手意識 ・課題の絞り込み	昼食	3 仮説を立てる ・仮説の必要性、重要性 ・手持ちの情報で仮説を立てる～フェルミ推定～ ・仮説を立てるための材料を洗い出す 4 適切な情報収集をする ・情報の種類 ・情報の入手 ・情報を見極める ・統計とは ・統計の見方		
2日目	受付	5 目的につながる分析、解釈をする ・分析する(定性分析、定量分析) ・解釈する	昼食	6 分かりやすく表現する ・視覚化のセオリー ・グラフは言語 7 総まとめとコミットメント			アンケート・閉講

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、ご承知おきください。